

五條市の学校（園）教育

学校教育が目指す子供像

～ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かにたくましく生きる子ども～

基本方針

『社会を生き抜く力を養う学校（園）づくり』のために

0歳から15歳までを見通した系統性のある連続した学びを展開する「縦のつながり」と、社会を生き抜く力の基盤となる、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体と安全」「集団の中での育ち」を「横のつながり」としてバランスよく育てる教育を推進します。また、学校教育を中心に、先人が培ってきた歴史や文化、そして生活を支えてきた産業を継承し、ふるさと学習の深化・充実を図ります。さらに、SDG'sが掲げる様々な課題に関する問題解決的な学習を通して、社会の持続的な発展を支える人材の育成を図ります。

重点目標

- ① 0歳から15歳まで一貫した教育方針による取組
- ② 3つの学園構想に基づいた小中一貫教育の推進・充実
- ③ 社会の変化に即した教育環境の充実と実学重視の高等教育の推進
- ④ 学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実

五條市教育大綱より

令和4年度 市教育委員会の事業

学校教育の充実

- 小中学校の規模・配置適正化事業の推進
- 認定こども園の開園
- 市立西吉野農業高校の魅力化推進



地域教育との連携・協働推進

- コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）事業の推進・充実

教育の保障と心の支援

- 適応指導教室「くすのき教室」の充実及び心の相談支援事業
- 個々の学習及び生活上の課題を改善・支援するための特別支援教育の充実

教育内容の充実

- 学校（園）への支援プロジェクト
 - ・市アドバイザーチームの訪問による学校（園）支援事業の充実
 - ・ICTを活用した学習活動の推進
 - ・個別の支援に対応した「通級指導教室」の充実
 - ・特色ある学校（園）づくり支援事業の推進
 - ・学力向上推進委員会・読書活動活性化委員会の充実
- 地域教材を活用した「ふるさと学習」の推進
- 博物館等の施設を利用した学習や学芸員の派遣
- 食育の充実や食物アレルギー対応の取組
- 学力向上・人権教育・健康安全の3プロジェクトの実施

令和4年度 各校園で進めていっていただきたいこと

五條市教育委員会事務局

○組織づくり

①目指す園児児童生徒像の共有

・園・小中学校の教職員が目指す園児児童生徒像を共有することで、ねらいが明確になります。その具現化に向けて、園・小中学校が共通理解を図り、様々な教育活動を合同で実施します。

②定期的な研修会等の開催

・園・小中学校が共同して取り組みを行うために、教職員の相互理解が必要です。そのためにも、定期的な連絡会や推進体制づくりが大切であり、保育・教育（授業等）を参観したり、研修会等を実施したりすることにより、園・小中学校の教職員が互いに学び合う体制を構築します。また園児児童生徒の実態や課題について協議して行きます。

③地域との連携

・「地域に開かれた学校づくり」や「社会に開かれた教育課程」に向けて、保護者や地域・学校運営協議会等と連携します。

○授業づくり

①学びのスタイルの小中共通実践

・小中学校教職員が、学習面、生徒指導面で学び合うことで、協働意識が高まり、互いの良さを取り入れた授業改善等を行います。学習内容の相互理解のもと、指導方法に一貫性を持たせ、授業規律、授業スタイルやノート指導、板書、話し合いの進め方家庭学習指導について共通実践を行います。

②小学校高学年一部教科担任制の実施

・学級担任制から教科担任制へと指導体制が変化する環境の変化に対応でき、社会の状況の高度化に対応し、より専門性が必要となってくる小学校高学年に一部教科担任制を積極的に導入することで、学力や学習意欲の向上、より専門的な教科指導や一人ひとりのニーズに対応した授業を行います。

③相互乗り入れ指導の実施

・中学校教員が小学校で指導を行うとともに小学校教員が中学校で指導を行う「相互乗り入れ指導」を導入し、多様な教員が指導にかかわることにより、子どもたちのよさを多面的に評価したり、資質や能力の育成を目指した授業を行います。

④ICTの活用

・「わかる授業」や主体的・対話的な深い学びの視点に立った学びの実現に向け、ICT機器を活用した授業を行います。また、どんな状況や場所でも学習ができる個別最適な学びに向けたICT機器の活用を行います。

○教育課程づくり

①発達段階に応じての系統性を確保した教育課程
・15歳のめざす姿を校区教職員で共有し、9年間の教育目標を設定し、発達段階に応じての系統性を確保した教育課程を編成します。

②基礎学力の定着に向けた9年間を見通した教育課程

・つなぎつながるカリキュラムをスタンダードとして活用し、小中学校の実態を踏まえた「小中一貫教育指導計画」を作成します。各学年の指導目標や指導内容の系統性を理解することで、系統性のある学習指導を行います。

③教科横断的な視点をもった教育課程

・各学年・各教科の指導内容を他学年・他教科の指導内容とのつながりに視点をもった指導計画として作成し、教科横断的な学習指導を行います。

④小中一貫英語教育

・英語教育においては、小中学校の指導の一貫性に向けた実践や小中学校の教員による指導方法等の相互研修などを4名のALTと連携しながら継続して実施します。

⑤地域企業との連携

・各教科・総合的な学習の時間での指導において、地域企業との連携を模索するなど、発達段階に応じたキャリア教育を行います。

○人間関係づくり

①9年間の発達段階を踏まえた生徒指導の推進

・児童生徒や学校の実態に応じ、重点目標や各学年の指導の重点を明らかにした「生徒指導計画」を作成し、系統的・継続的に規範意識や望ましい人間関係づくりのための教育を行うことで、豊かな心や社会性の育成を図ります。

②児童会・生徒会の交流活動の実施

・異学年集団活動や地域社会と積極的に関わる体験的・実践的な活動を行うことで、自己肯定感の向上やコミュニケーション能力の育成を図ります。

③特別支援教育における連携

・小中学校の特別支援学級間での共通実践に取り組んだり、特別支援コーディネーター間での情報交換を密に行ったりすることで、継続的で一貫した支援につなげます。また、通級指導では、子供の自立を目指し、障害による困難を改善・克服するため、一人ひとりの状況に応じた指導を行います。

④個別の教育支援計画・個別の指導計画の活用

・児童生徒の情報を共有化し、連携を深め、小中学校間での指導の一貫性を図ることは大切です。個別の教育支援計画・個別の指導計画を、保護者の理解のもと小中学校間で引き継ぎ、積極的に活用を行うことで、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、9年間を見通した多様できめ細やかな教育を行います。

社会を生き抜く力を身に付ける

～15歳のめざす姿を求めて～

学校・園・所では

確かな学力 将来を展望できる確かな 学力の育成

「学び」を深める
自分の生き方と関連
付けながら、学びをさら
に深め、地域社会の中で
よりよく生きていく自信を
持つようになる。

「学び」を活用する
課題に対し、学びを
活用して論理的に考
える力と、自主的に学
習する意欲を高める。

「学び」を広げる
集団の中での関わり
をおとし、知識の
広がる楽しさや、分か
る喜びを実感できる
ようにする。

「学び」の基礎をつくる
人やものこととの直
接的・具体的なかわり
をおとし、学びの楽し
さから自覚的な学びへ
とつなぐ。

豊かな心 人を大切にする豊かな心 の育成

自己実現を目指す
なりたいたい自分の実現
を意識し、変化する社会
や環境に柔軟に対応
し、自己決定する力を育
てる。

自己有用感を育てる
目標をもち、様々な活
動をおとし経験を広
げ、努力することの意義
を実感させ、自己有用感
を育てる。

自尊感情や思いやり
の心を育てる
安全で安心した体
験活動を通して、自ら
が認められることで自
尊感情を育てる。

健やかな体・安全 心身ともにたくましい子ども の育成

生活の自己管理
・体力の向上と構造的に運
動に取り組み態度の育成
・主体的な防災や安全な行
動・健康で健全な生活習慣の
確立

望ましい生活習慣の実践
・運動能力の育成
・選別訓練や安全教育等の
意義の理解
・バランスの取れた食生活の
大切さの理解と感謝の心の
育成

基本的な生活習慣の定着
・早寝・早起き・朝ご飯
・遊びを通して運動経験の拡
大
・学校生活での安心安全
の理解
・食べることの習慣の確立
と栽培活動等をおとし食
べ物を大切に持つ気持
ちの育成

集団の中での育ち 集団の中で力を高める

集団の一員としての自覚
をもち、協力し合ってよりよ
い校園をつくることともに、
様々な集団の意義や自分
の役割と責任を自覚して、
集団生活の充実を努める。
差別や偏見のない社会の
実現に努める。

協力し合ってよりよい集
団を作るとともに、様々な
集団の中での自分の役割
を自覚し、集団生活の充
実に努める。

みんなで協力し合っ
て楽しい集団をつくる。
誰に対しても分け隔て
なく公正・公平な態度で
接する。

周りの人と親しみ、生
活を楽しむ。
好き嫌いにとらわれな
い接する。

中3

中2

中1

小6

小5

小4

小3

小2

小1

年長

発展期

充実期

拡大期

基礎期

家庭では

自分の学習スタイルを確立し、進路を
見すえ主体的に学習を進めよう

時間を有効に使い、主体的
に学習しよう
将来の夢を話し合おう

いつ、何をどのように勉強す
るのか自分で計画をたてて
学習しよう

自分から進んで学習できるよ
うにしよう
読書を楽しもう
子どもの言葉に耳を傾けよう

決まった時間に机に向かっ
て学習をする習慣を身に付
けよう
家庭での役割をつくらう

基本的な生活習慣を身に付けよう
絵本に親しもう
親子でしっかり会話をしよう
社会の基本的なルールを学ぼう
充実した遊びや体験に取り組もう

